

トヨタテストコース建設

県に再度「見直しを」

市民団体

トヨタ自動車が豊田、岡崎の両市境で計画する国内最大級のテストコース建設をめぐり、市民団体「県野鳥保護連絡協議会」は十九日、敷地を造成する県に対し、あらためて計画を見直し代替地を検討するよう要望した。絶滅の恐れがある猛

禽類の生息が確認されることを受け、トヨタは昨年九月、事業計画を修正し、改変面積を二百八十畝に縮小した。同協議会はこの修正では不十分として「修正後の改変面積は愛知万博長久手会場の一・七倍にあたる」と指摘した上で、二〇一〇年

に名古屋市で開かれる生物多様性条約第十回締約国会議(COP10)との矛盾を主張している。県への要望は昨年十二月に続き二度目。